

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野		人家に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策		事業番号	14	事業名	急傾斜地崩壊対策等							建設部 砂防課					
番号	市町村名	(ふりがな)箇所名	事業概要	全体事業費(千円)	H25年度事業費(千円)	完了予定年度	項目毎の評価							部意見	行政改革課意見	現地調査	申請	採択	備考
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点	ランク						
1	下諏訪町	たけい武居	重力式擁壁 L=200m	100,000	10,000	H28	A	B	A	A	B	80	A	保全対象に人家10戸、災害時要援護者施設がある。H16には斜面崩落が発生しており、早急に対策を行う必要がある。	必要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
2	佐久穂町	じょうやまのみ城山南	重力式擁壁 L=240m	120,000	20,000	H27	B	B	A	A	A	80	A	保全対象に人家22戸がある。過去には斜面の小崩落があり地元の防災意識が高く強い事業要望があることから、対策を行う必要がある。	緊急性が認められる。		○	○	
3	千曲市	いまいちよう今井町	法枠工 L=150m	200,000	10,000	H28	C	A	A	A	A	79	A	保全対象に人家12戸がある。平成19年には小崩落があり地元要望も強いことから早急に対策を実施する必要がある。	重要性、緊急性が認められる。		○	○	
4	長野市	なかじょうおほたけ中条大畠	重力式擁壁 L=150m 吹付法枠工 L=150m	200,000	7,000	H29	B	A	A	A	A	77	A	保全対象に人家11戸、災害時要援護者施設がある。H21、23には斜面崩落が発生しており、早急に対策を行う必要がある。	重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
5	長野市	つつい筒井	重力式擁壁 L=50m 崩壊土砂防止柵工 L=40m	80,000	20,000	H27	B	A	A	A	A	76	A	保全対象に災害時要援護者関連施設がある。この施設は重要施設であり収容者数も多いことから早急に対策を行う必要がある。	重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
6	諏訪市	じんぐうじ神宮寺	重力式擁壁 L=440m	200,000	20,000	H29	B	A	A	B	A	76	A	保全対象に人家16戸がある。平成23年には落石が人家を直撃する被害があり地元要望も強く早急に対策を実施する必要がある。	重要性が高い。	○	○	○	
7	駒ヶ根市	わで上手	重力式擁壁 L=100m	80,000	20,000	H27	B	C	A	A	A	75	A	保全対象に人家1戸、災害時要援護者施設がある。この施設には多くの老人が収容されており、早急に対策を行う必要がある。	緊急性が認められる。	○	○	○	
8	長野市	なかじょうしのみね中条西峯	法面防護工 A=6,000㎡	200,000	7,000	H29	B	A	A	B	A	74	B	保全対象に人家3戸、災害時要援護者施設がある。H23には斜面崩落が発生しており、早急に対策を行う必要がある。	重要性が認められる。	○	○	○	

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野		人家に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策		事業番号	14	事業名	急傾斜地崩壊対策等							建設部 砂防課					
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H25年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	項目毎の評価						部意見	行政改革課意見	現地 調査	申請	採択	備考	
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点							ランク
9	上田市	わこ 和子	重力式擁壁 L=230m 崩壊土砂防止柵工 L=800m	940,000	30,000	H34	B	A	C	A	A	73	B	保全対象に人家42戸がある。 平成23年には落石が人家を 直撃する被害があり、地元要 望も強く、早急に対策を実施す る必要がある。	重要性が高く、緊急性も認めら れる。		○	○	
10	松川村	ねずあな 鼠穴	重力式擁壁 L=650m	130,000			B	C	A	A	A	73	B	地元要望もあり事業の必要性 はあるが、近年では斜面変状 が少ないことから、ほかの保全 対象に災害時要援護者施設を 有する箇所の着手を優先して 経過観察とし、H25新規箇所 としては見送りたい。	重要性がやや低い。				
11	木祖村	みやま 見山	吹付法枠工 L=270m	250,000			B	B	A	A	B	70	B	地元要望もあり事業の必要性 はあるが、近年では斜面変状 が少ないことから、ほかの保全 対象に災害時要援護者施設を 有する箇所の着手を優先して 経過観察とし、H25新規箇所 としては見送りたい。	緊急性は認められる。				
合 計			11箇所	2,500,000	144,000		A : 配点の75%以上 B : 50%以上75%未満 C : 50%未満												